

⑩新東名高速道路 6車線化事業の完成

受賞機関 中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部
 中日本高速道路株式会社 東京支社 御殿場保全・サービスセンター
 中日本高速道路株式会社 東京支社 富士保全・サービスセンター
 中日本高速道路株式会社 東京支社 浜松保全・サービスセンター

キーワード 短期完成、ダブル連結トラック、トラック隊列走行

全建賞審査委員会の評価ポイント

新東名高速道路（御殿場JCT～浜松いなさJCT）約145kmにおける6車線化事業。ダブル連結トラックやトラック隊列走行など国家プロジェクトが予定されている道路において、事業化から2年という短期間で無事完成させた点が評価された。

1.はじめに

新東名高速道路（御殿場JCT～浜松いなさJCT）145kmは、2012年4月に暫定4車線で開通し、わが国の社会経済活動の根幹を担う大動脈の東名とダブルネットワークの効果を発揮してきた。

3大都市圏をつなぐダブルネットワークの安定性・効率性を更に向上させるため、2018年8月に当該区間の6車線化が事業化され、2020年12月22日に全線6車線化を完成させた。

2. 事業の概要

約145kmに渡る6車線化事業は、静岡県内の東側から御殿場、富士、浜松保全・サービスセンターの3事務所が担当し、事業推進を図ってきた。

社会的に大きな意味を持ち、一日も早い完成が望まれていたため、舗装路盤の連続鉄筋コンクリート版をプレキャストとしたほか、アスファルト合材温度の自動管理、転圧作業の自動計測システムの導入等による省人力化を行った。供用中の交通への影響を最小限にしつつ、非常に狭く長い施工ヤードという困難な状況下でも工事を進め、事業化から約2年という短期間で工事を完成させた。



新東名 6車線化完成後の様子

3. 事業の成果

6車線化の完成により、「ダブル連結トラック」や「トラック隊列走行」に向けたインフラ環境が整備され、物流の効率化による生産性の向上が期待される。

さらに、視界が広く快適に走行できる片側3車線となることで、急な加速や減速を伴う危険な追越行動が減少するため、片側2車線での運用よりも死傷事故率が低下することも確認されており、交通の安全性向上が期待される。

また、東名高速道路の災害等による通行止め時に、新東名高速道路は迂回路としての役割を担っており、6車線化によってその機能も強化され、ダブルネットワークの信頼性が向上する。



トラック隊列走行のイメージ

4. おわりに

全国につながる高速道路のうち、貨物輸送の半数は、3大都市圏をつなぐ、東名高速道路や新東名高速道路、名神高速道路や新名神高速道路などが担っている。その一端を受け持つ新東名高速道路の6車線化が完成したことにより、その環境を活用した自動車技術の進歩に伴う物流の生産性向上が日本社会の経済成長、ひいては地域の活性化と暮らしの向上につながることを期待する。

賛助会員 (株)市川工務店、大林道路(株)、(株)ガイアート、東亜道路工業(株)、(株)NIPPO、日本道路(株)